

# 製品仕様書

---

製品名	人感ノード
型番	SW-4220-1000
	SW-4220-1010

Rev: 1.3

発行日:2017年2月27日

## 注意事項

### ■はじめに

本製品を安全にお使い頂くために、ご使用前に必ずこの製品仕様書をご確認ください。  
この製品仕様書は、将来予告なく仕様等の記載内容を変更する可能性があります。

### ■ 安全上の注意



#### 警告

以下の内容を見逃して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



特別な環境(病院、空港、乗り物等)に設置する場合は、必ず設置場所の責任者および設備管理担当者の了解を得た後に行ってください。

電波により、医療用機器や電子機器に誤作動などの悪影響を及ぼし、安全を脅かす、あるいは事故の原因につながる場合があります。



天井や壁への設置は、ネジ止め固定等により確実に行ってください。

落下するとけがや故障の原因になります。



本製品を分解、修理、改造をしないでください。

事故や故障の原因になります。



湿気の異常に多い場所や水滴のかかる可能性のある場所では、使用しないでください。防水構造ではありませんので、火災や感電、故障の原因になります。



本製品の内部やすき間に、金属片を落としたり、害虫等を侵入させたりしないでください。水などの液体をこぼしたり、濡れた手で取り扱ったりしないでください。火災や感電、故障の原因になります。



加熱、焼却は絶対にしないでください。リチウム電池を使用していますので、発火や破裂する可能性があります。廃棄時は産業廃棄物として処理してください。

異常と思われる次のような場合は、電源を切り使用を停止してください。

異常状態のまま使用すると、事故や火災の原因になります。



- ・発煙したとき
- ・異臭、異常音が発生したとき
- ・本製品の内部やすき間に、金属片や水などの異物が入ったとき
- ・本製品の外装が破損したとき



**注意** 以下の内容を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

次のような場所には設置しないでください。事故または故障の原因になります。

- ・温度・湿度が定格の範囲を超える場所
- ・温度・湿度の変化の激しい場所
- ・水、薬品、油などの液体のかかる可能性のある場所
- ・塵やほこりの多い場所
- ・振動や衝撃の加わる場所
- ・可燃性ガス、腐食性ガス、腐食性イオンが存在する場所
- ・直射日光が当たる場所
- ・強い磁界・電界がある場所
- ・乳幼児の手が届くような場所
- ・ストーブ等の火のそば



乳幼児の手が届く場所に設置したり、保管したりしないでください。誤って、アンテナや付属部品を飲み込む可能性があります。その場合は医師の指示に従ってください。



アンテナに無理な力を加えたり、アンテナを持って引き抜いたりしないでください。



本製品を落としたり、たたいたりなどして衝撃を与えないでください。事故または故障の原因になります。



## ■取扱上の注意

- 本製品を落下させてしまった場合は、当該製品の電源をONし、正常に動作することを確認したうえでご使用ください。
- 長期的に保存する場合は、なるべく25°C±10°C 65%RH以下の暗所に保存してください。有機溶剤や腐食性ガスの雰囲気には保存しないでください。
- 他の電子機器が発する電波やノイズの影響を受けた場合、正常に動作しない可能性があります。必ず、事前に十分な評価を行ったうえで使用してください。
- 設置環境によっては無線通信が必ず成功するとは限りませんので、データ欠損がシステムへ重大な影響を及ぼすようなアプリケーションへの採用は御注意ください。
- 製品本体のラベルは剥がさないでください。

## ■廃棄時の注意

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として扱い、地方自治体の条例に従って処理してください。

## 目次

<b>1</b>	<b>適用</b> .....	<b>6</b>
<b>2</b>	<b>装置概要</b> .....	<b>6</b>
2.1	特長.....	6
2.2	装置外観と各部の説明.....	7
<b>3</b>	<b>構成</b> .....	<b>8</b>
3.1	無線センサネットワーク構成.....	8
3.2	装置構成.....	9
<b>4</b>	<b>機器仕様</b> .....	<b>10</b>
4.1	外形寸法、質量、材質、カラー.....	10
4.2	取付けプレート.....	11
4.3	電源仕様、センサ特性.....	12
<b>5</b>	<b>機能仕様</b> .....	<b>15</b>
5.1	電池切れ表示機能.....	15
5.2	無線送信表示機能.....	16
5.3	電源 ON/OFF.....	16
5.4	ユニットプロパティ読出し/書込み機能.....	16
5.5	人体検出機能.....	17
5.6	検出回数と送信タイミング(活動量測定仕様; SW-4220-1000 の場合).....	18
5.7	検出回数と送信タイミング(イベントドリブ; SW-4220-1010 の場合).....	19
5.8	センサ特性上の注意点.....	20
5.9	メッセージフォーマット(ベースからホストへ).....	21
<b>6</b>	<b>無線仕様</b> .....	<b>24</b>
<b>7</b>	<b>環境条件</b> .....	<b>26</b>
7.1	設置環境.....	26
7.2	動作環境.....	27
7.3	保管環境.....	27
<b>8</b>	<b>保証規定、免責事項</b> .....	<b>28</b>
8.1	保証規定.....	28
8.2	免責事項.....	28

## 図

図 1	外観と各部の名称	7
図 2	無線センサネットワーク構成例	8
図 3	ブロック図	9
図 4	外形寸法図	10
図 5	取付けプレートの外形寸法図	11
図 6	検出範囲	13
図 7	検出範囲例	14
図 8	電池切れ表示	15
図 9	無線送信表示	16
図 10	タイミングチャート	17
図 11	検出回数と送信タイミング例 (SW-4220-1000)	18
図 12	検出回数と送信タイミング例 1(SW-4220-1010)	19
図 13	検出回数と送信タイミング例 2(SW-4220-1010)	19
図 14	設置環境	26

## 表

表 1	製品型番と仕様	6
表 2	構成部品	9
表 3	外形寸法、質量、材質、カラー	10
表 4	電源仕様	12
表 5	センサ特性	12
表 6	電池切れ表示	15
表 7	無線送信表示	16
表 8	ユニットプロパティ一覧	16
表 9	定期送信 (SW-4220-1000)	18
表 10	定期送信 (SW-4220-1010)	19
表 11	センサネットワークプロトコル (SNP) 内メッセージ内訳	21
表 12	無線仕様	24
表 13	無線チャンネルの周波数と送信出力 (1mW)	25
表 14	無線チャンネルの周波数と送信出力 (20mW)	25
表 15	動作環境	27
表 16	保管環境	27

## 1 適用

本書は人感ノード(以降、本製品と呼ぶ)に適用する。

表 1 製品型番と仕様

製品名	型番	仕様
人感ノード	SW-4220-1000	活動量測定
	SW-4220-1010	イベントドリブン

## 2 装置概要

本製品は、無線センサネットワークにおいて、焦電型赤外線センサを使って人の動きを検出し、その結果をベースに対して無線で送信するノードです。

### 2.1 特長

本製品の特長を以下に示します。

- 人体の検出回数と検出幅を定期的に送信する仕様(活動量測定タイプ)と、待機状態時にセンサ検出した場合、即座に検出メッセージを送信し、その後は人体の動きを検出しなくなるまで1分ごとに検出回数を送信する仕様(イベント・ドリブン)があります。
- マルチホップ無線センサネットワークに接続可能。
- 無線出力は 1mW / 20mW の切り替えが可能。
- 電池寿命は 10 年。電池電圧の低下も確認可能。

## 2.2 装置外観と各部の説明

本製品の外観と各部の名称を図1に示す。

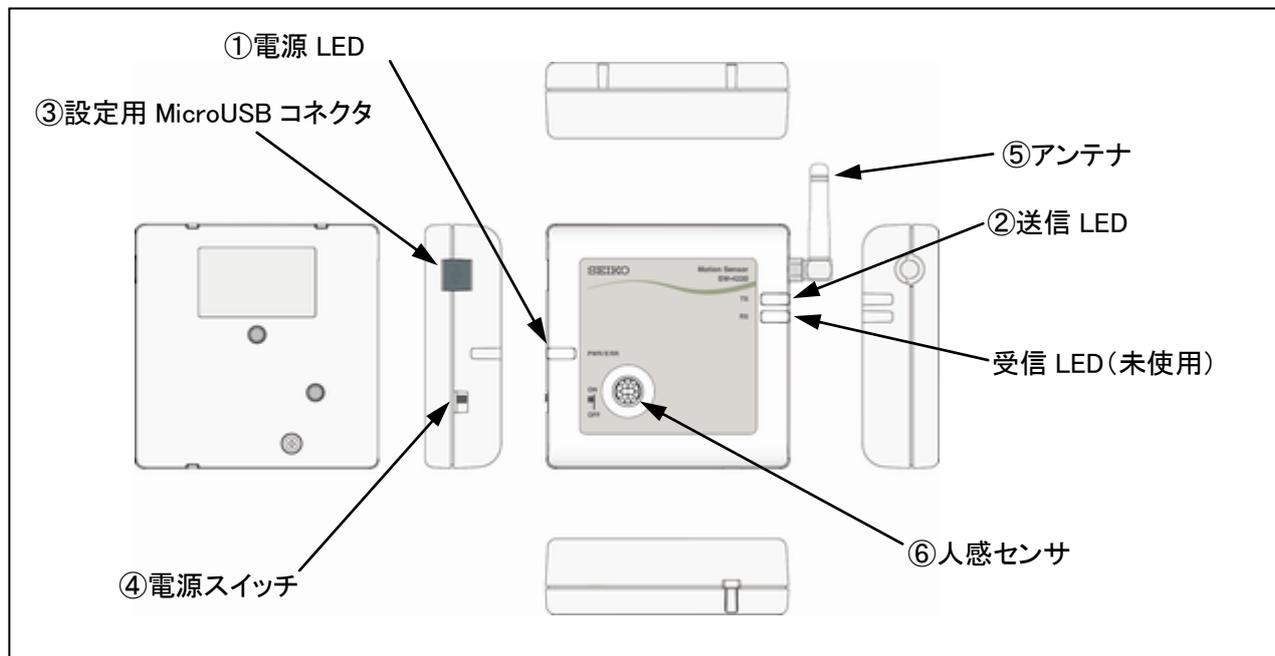


図1 外観と各部の名称

### ①電源 LED

電源投入時やハードウェア異常時にLEDの色で表示します。

### ②送信 LED

無線メッセージ送信時、送信結果や電波強度の強弱を色で表示します。

### ③設定用 MicroUSB コネクタ

ユニットプロパティ設定時に使用します。USB コネクタキャップを外して使用します。

### ④電源スイッチ

電源の ON/OFF をするスイッチ。

### ⑤アンテナ

本製品に付属の専用アンテナをご使用してください。

### ⑥人感センサ

焦電型赤外線センサを使用しています。

### 3 構成

#### 3.1 無線センサネットワーク構成

無線センサネットワークは図 2 のように構成され、以下のような特徴があります。

- ・ 920MHz 帯特定小電力無線 (ARIB STD-T108 準拠) を使用した無線ネットワークである。
- ・ 無線センサネットワークはノード (子機) ・ ルータ (中継器) ・ ベース (親機) から構成される。
- ・ 各ユニットはアドホックなネットワーク機能を持ち、ユニットを設置環境に散布するだけで自律的にネットワークを構築する。任意にユニットの追加・変更が可能である。
- ・ 直接メッセージが届かない場合は必要に応じてルータを設置し、転送することが可能。
- ・ ベースは Ethernet を経由し、収集メッセージをホストへ送信する。
- ・ ホストから出力されたコマンドは、ベースを経由し各ユニットへ送信される。

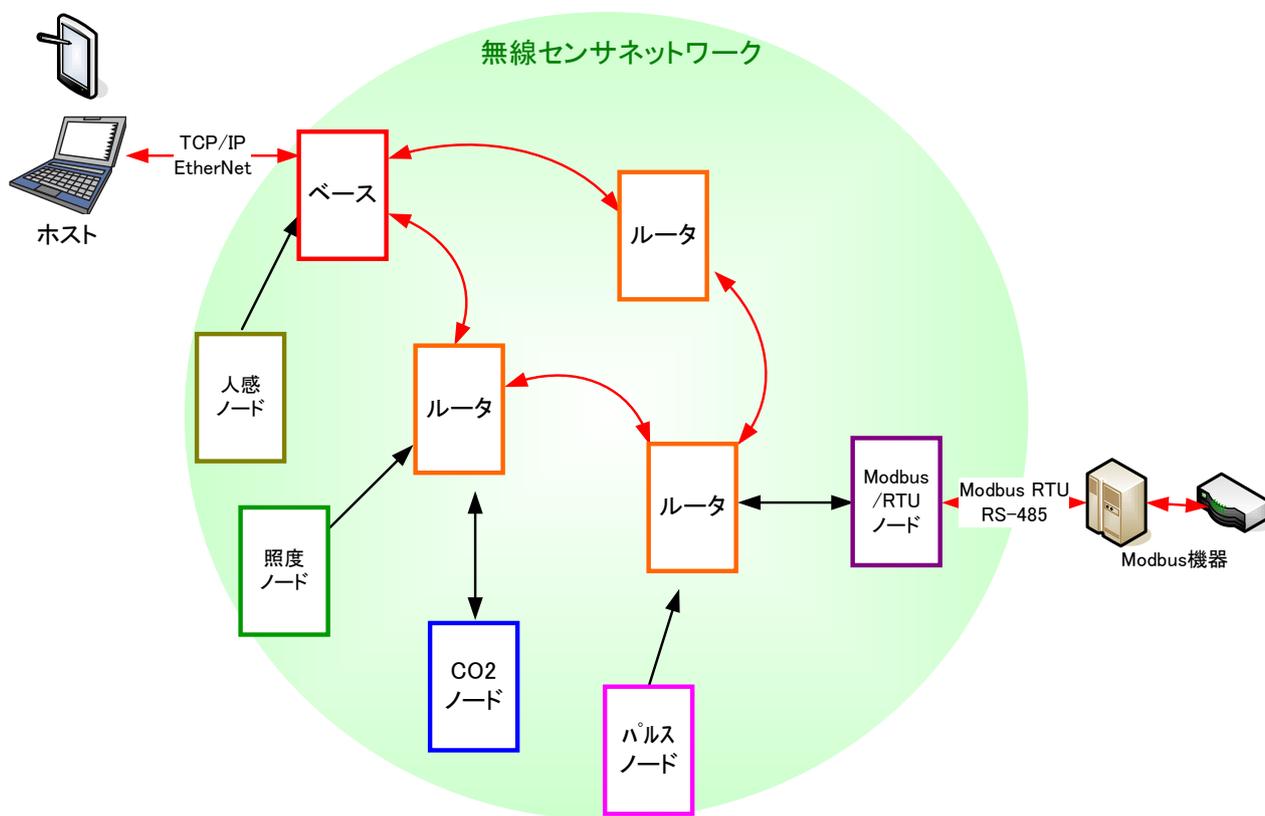


図 2 無線センサネットワーク構成例

## 3.2 装置構成

### ■装置構成部品

表 2 構成部品

分類	名称	型式番号	数量	備考
本体	人感ノード	SW-4220-1000	1	
		SW-4220-1010		
付属品	アンテナ	—	1	本体に装着
	取付けプレート	—	1	本体に装着
	ボルト	—	2	本体に装着
	USB コネクタキャップ	—	1	本体に装着
オプション	取付用磁石	—	2	ネジ 2 個を含む

### ■ブロック図

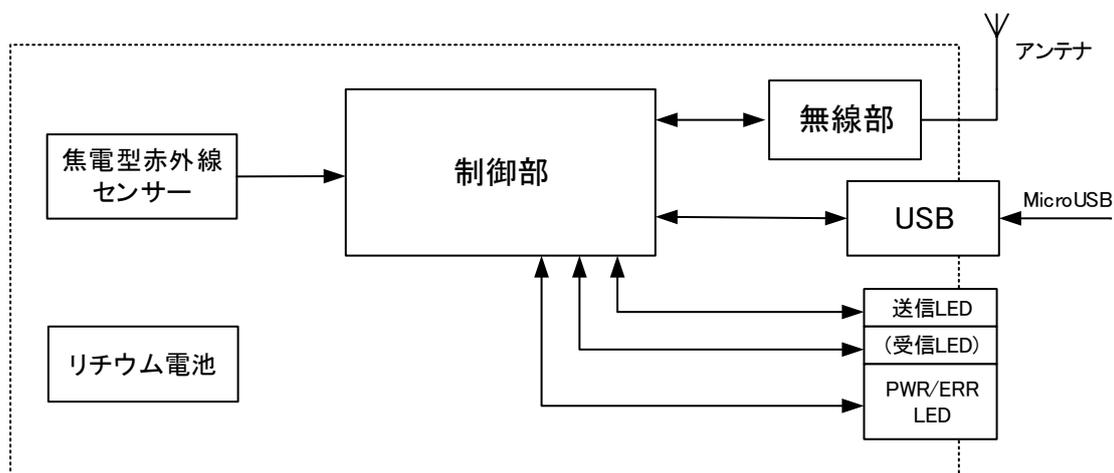


図 3 ブロック図

## 4 機器仕様

### 4.1 外形寸法、質量、材質、カラー

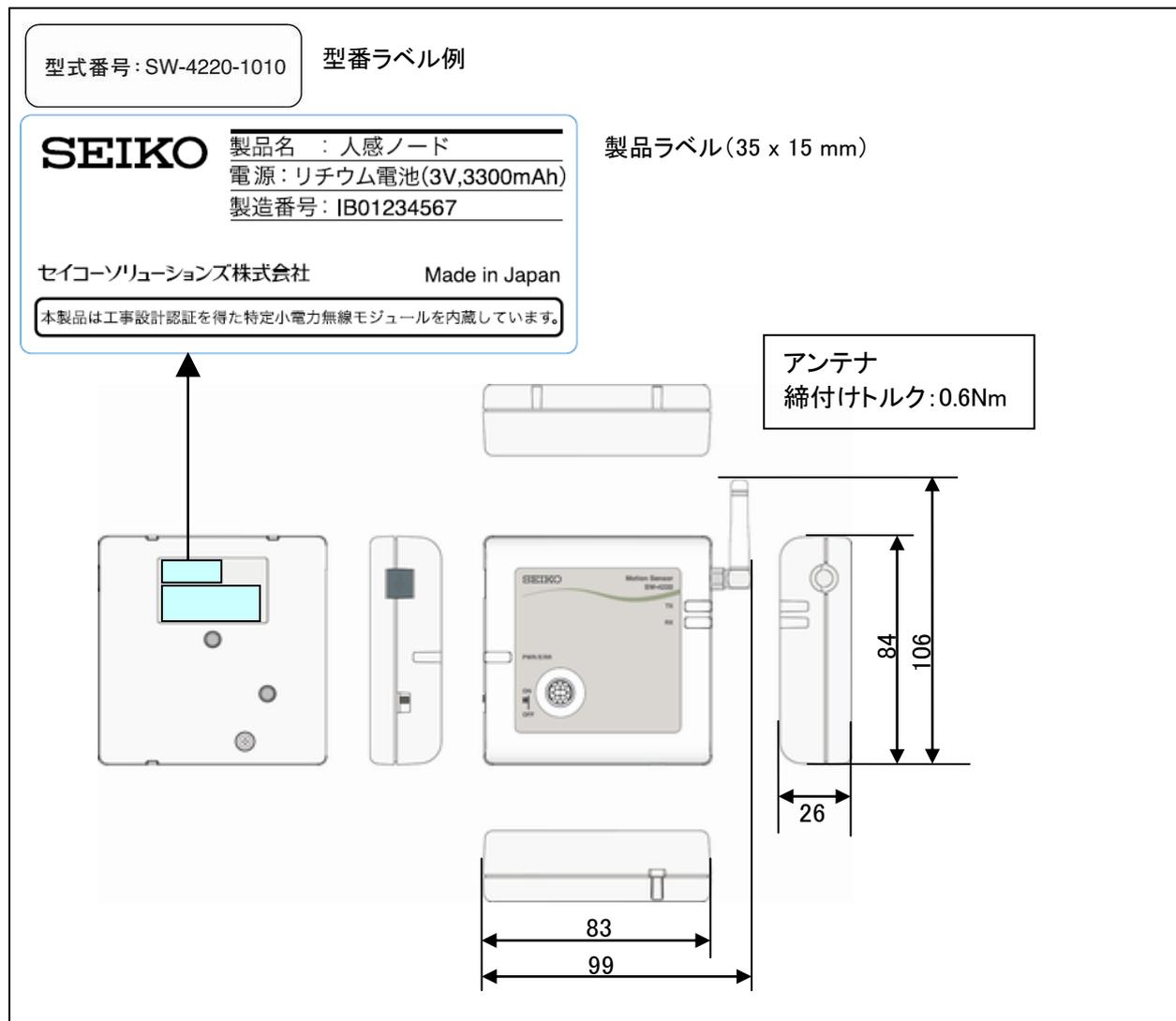


図4 外形寸法図

表3 外形寸法、質量、材質、カラー

外形寸法 W x D x H (mm)	質量(g)	材質	ケース色
83 x 84 x 26	約 130 g (注)	ABS	ホワイト

(注)USB コネクタキャップ・アンテナを含む。取付けプレート、ボルトは含まない。

## 4.2 取付けプレート

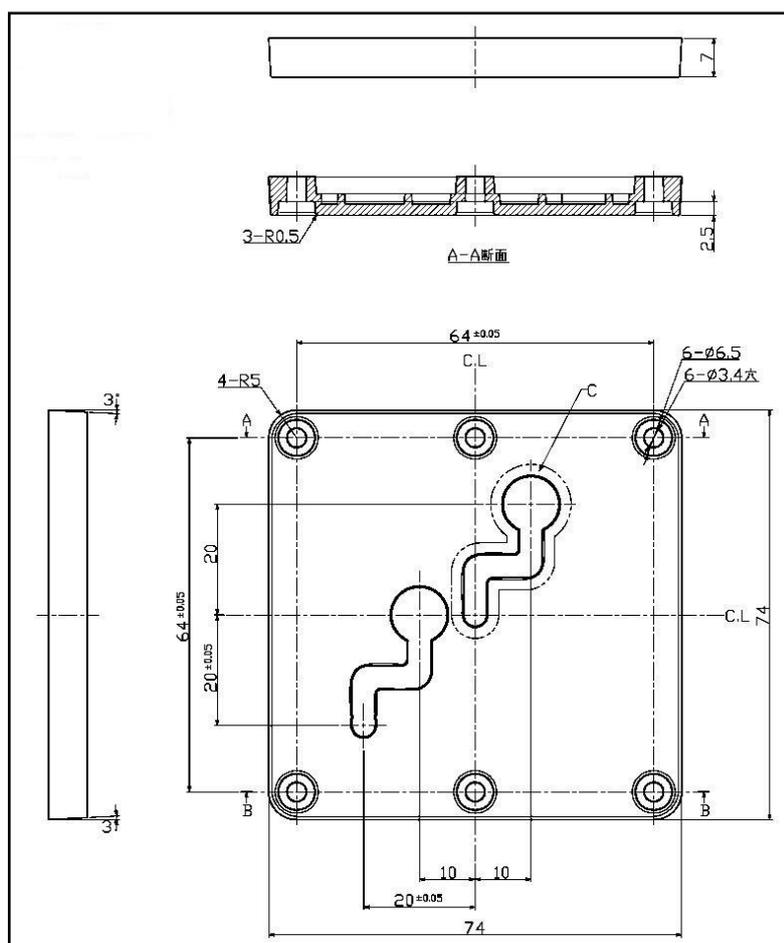
本体を壁に取付けたい場合は、取付けプレートとボルトを使用することにより、壁への着脱が可能です。取付けプレートは 6 本のネジを使用して壁へ固定します。本体を取付けプレートへ装着する場合、まず本体にボルトをネジ込み、取付けプレートの鍵穴状の丸穴に本側のボルトを挿入し、クランク状にずらし、カチッと音がするまでしっかりはめ込んでください。

本体を棚の上などに置いて使用する場合は、ボルトを外して使用してください。

取付けプレートの寸法と推奨取付けネジは以下の通りです。



ボルト  
締付けトルク:0.40~0.45Nm



※取付ねじは付属されていないので  
事前に準備してください。

【推奨取付ねじ】  
トラスタッピング(1種A型)

・寸法

A:  $\phi 6.5\text{mm}$  以下

M:  $\phi 3\text{mm}$

E: 2.5mm 以下

L: 板厚に応じて決定してください。

・必要本数: 6 本

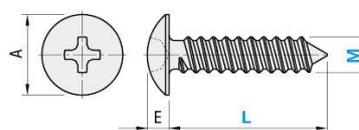


図 5 取付けプレートの外形寸法図

### 4.3 電源仕様、センサ特性

#### ■電源仕様

表 4 電源仕様

項目		仕様	備考
電池		3.0V、3300mAh	リチウム電池、CR17335A(1,650mAh) x 2 本
電池寿命	SW-4220-1000 (活動量測定)	約 10 年	1 分送信(毎回再送を 1 回)の場合の計算値
	SW-4220-1010 (イベントドリブン)	約 10 年	1 分送信(毎回再送を 1 回)が連続で続いた場合の計算値

※T=25°C

#### ■センサ特性

表 5 センサ特性

項目		仕様	備考
検出距離		5m 以内	
検出範囲	水平方向	約 90°	
	垂直方向	約 80°	
電源投入時 回路安定時間		平均 25 秒 最大 210 秒	回路安定時間中は検出対象の有無に関わらず、検出回数が定まりません。

※T=25°C

<検出対象の条件>

- ・背景との温度差は 4°C以上
- ・移動スピード: 0.8~1.2m/s
- ・人体想定サイズ: 70x25cm

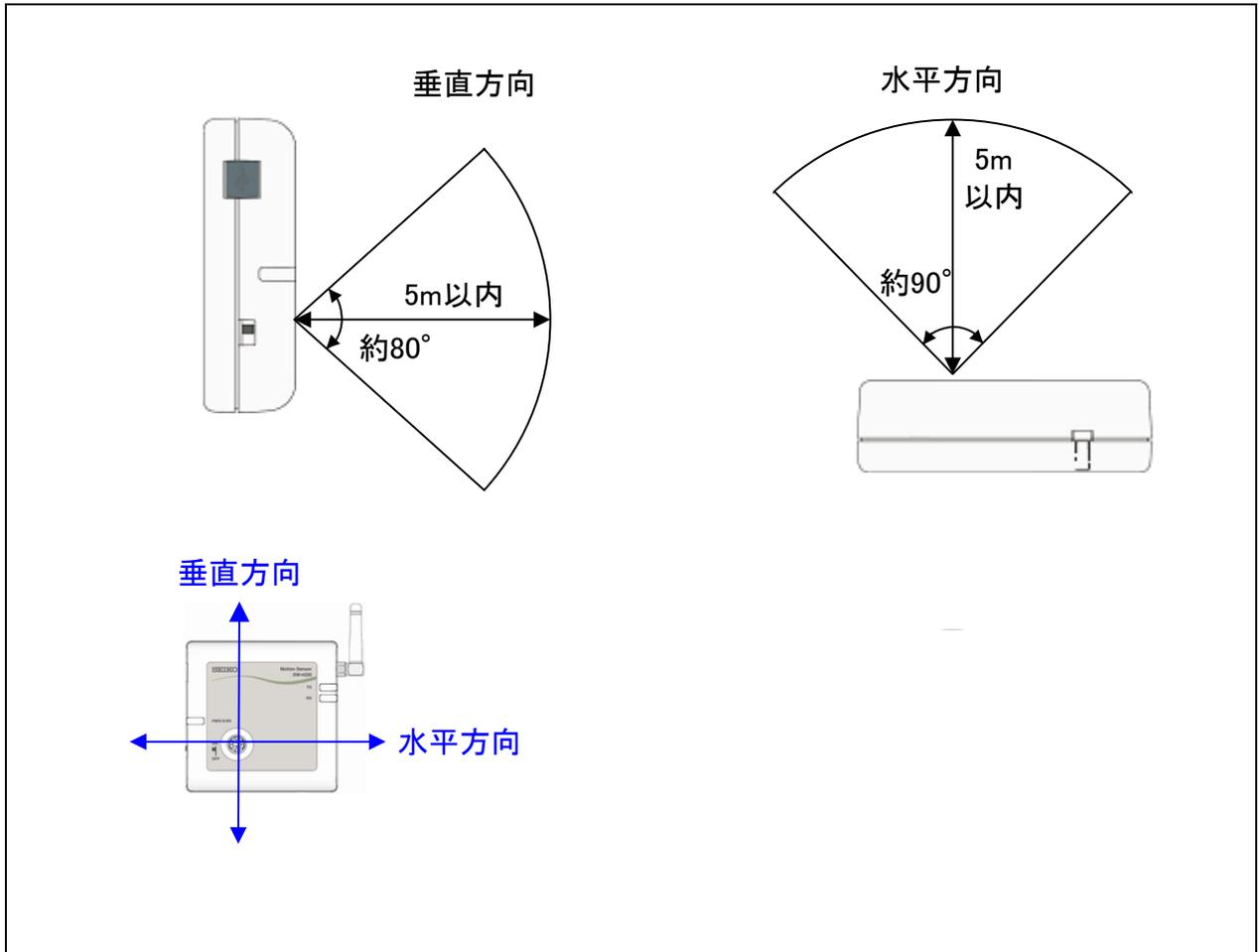


図6 検出範囲

以下に、人感ノードを天井高 2.8m に設置した場合、代表的な高さ(床、机高(0.7m)、人頭(1.7m))を例にとり、センサの検出範囲を示します。

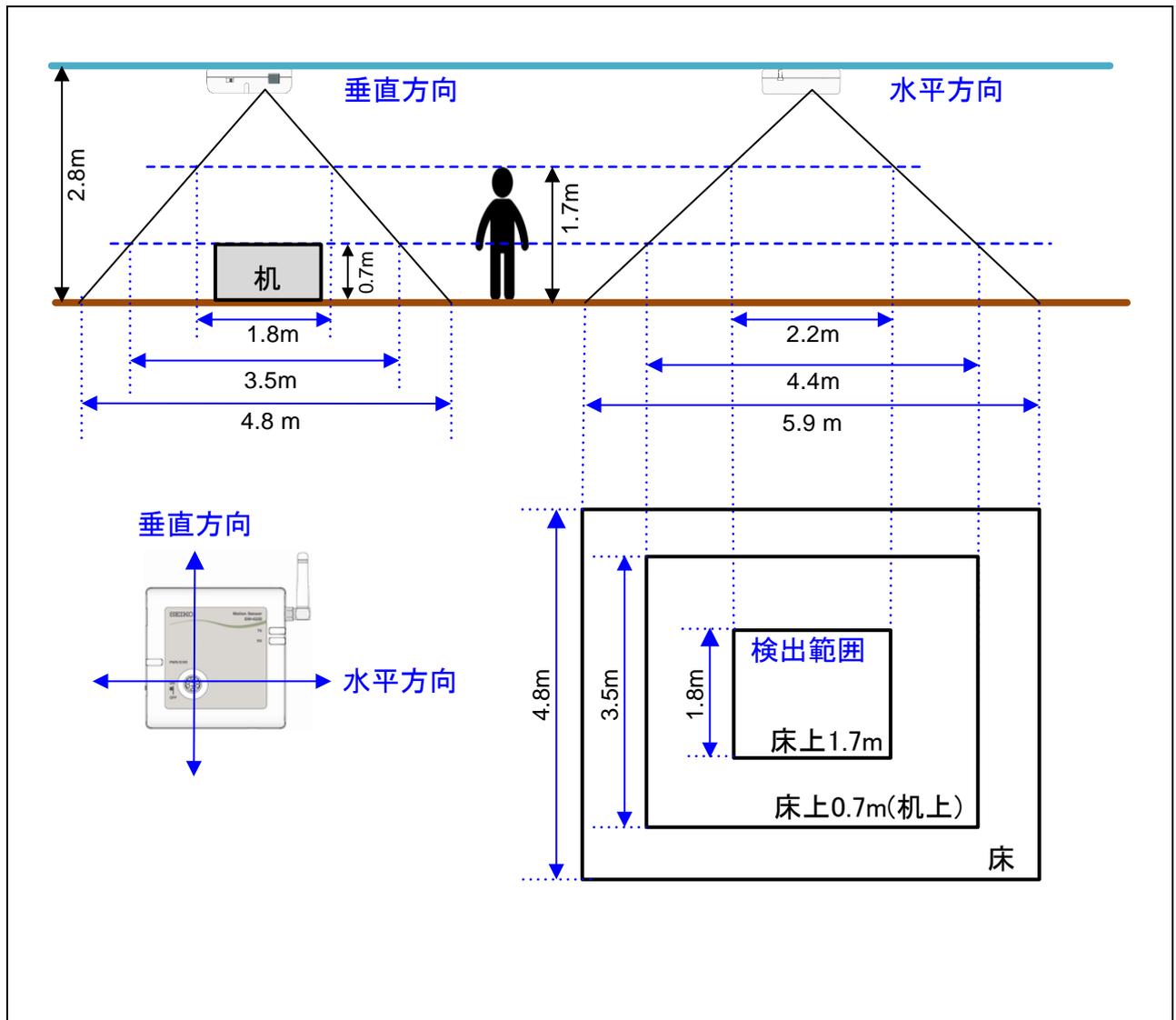


図 7 検出範囲例

## 5 機能仕様

### 5.1 電池切れ表示機能

本製品は電池切れやハードウェア異常を表示する電源 LED を搭載しています。

- ・電源投入後に LED が 2 秒間緑色点灯し、その後消灯します。
- ・ハードウェア異常時には LED が赤色点滅します。
- ・電池電圧が 2.5V 以下になると LED が赤点灯し、動作を停止します。

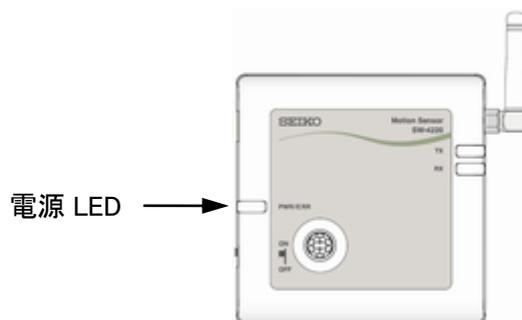


図 8 電池切れ表示

表 6 電池切れ表示

LED 表示	内容	動作	備考
緑色点灯	電源投入	動作	緑色点灯 2 秒後に消灯。
消灯	2.8V 以上 約 2.5～約 2.8V		電池電圧レベルはメッセージで確認可能。
赤色点灯	約 2.5V 以下	停止	メッセージを 10 回送信後、赤色 LED が点灯し動作を停止する。
赤色点滅	ハードウェア異常		

## 5.2 無線送信表示機能

本製品は無線送信時のステータス表示機能を搭載します。

表 7 無線送信表示

点灯するタイミング		発行色、点灯時間
送信時	—	緑色、35ms
送信結果	送信成功、RSSI 値 20 以上	緑色、100ms
	送信成功、RSSI 値 20 未満	橙色、100ms
	送信失敗 (受信ユニット確認不可能)	赤色、100ms

※ 上記とは別に、電源投入時に送信 LED と受信 LED が緑色で 2 回点滅し、無線回路に電源が投入されたことを示します。

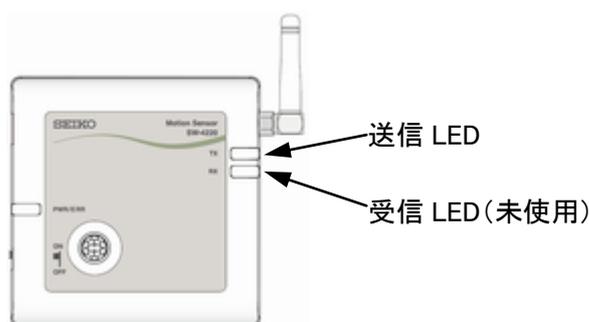


図 9 無線送信表示

## 5.3 電源 ON/OFF

本体横に電源 ON/OFF 用のスライドスイッチがあります。長時間使用しない場合は電源を OFF にすることを推奨します。

## 5.4 ユニットプロパティ読出し/書込み機能

本製品のプロパティは、MicroUSB 経由で専用アプリケーションにより読出・書込が可能です。

表 7 にユニットプロパティの一覧を示します。

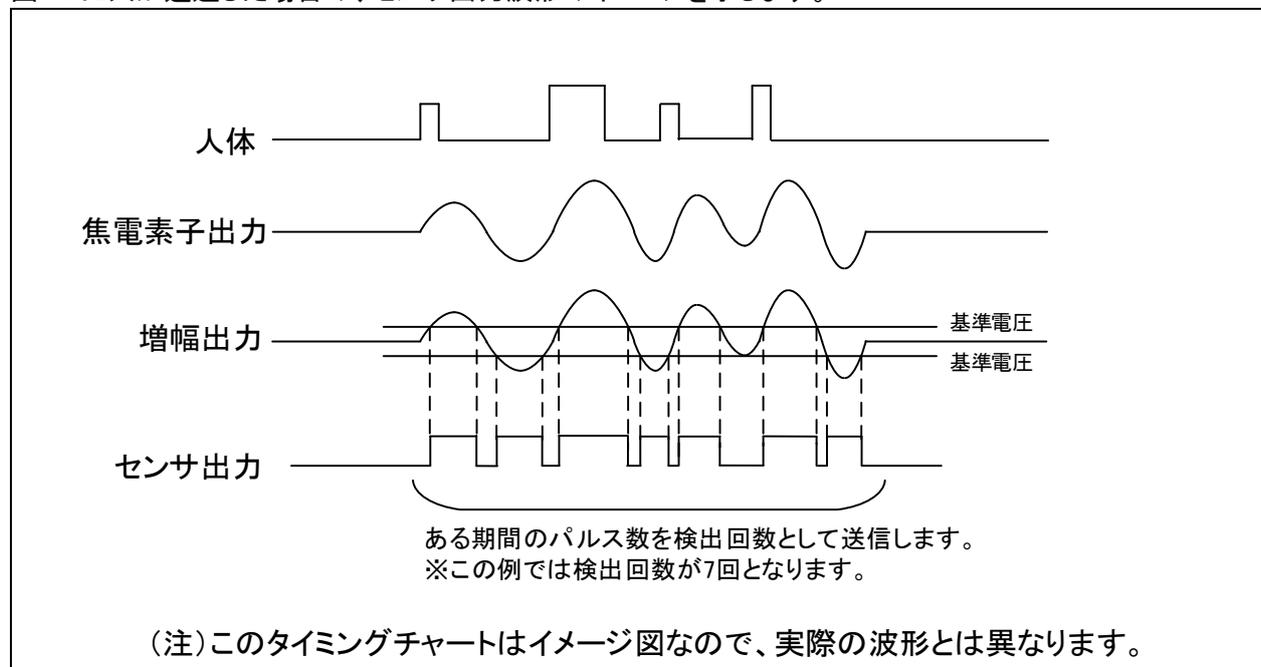
表 8 ユニットプロパティ一覧

プロパティ	設定範囲	初期値
ユニット ID (UID)	1~254	250
グループ ID (GID)	101~254	101
通信チャネル(CH)	25~31、34~60、64~75 (送信出力による)	60CH
送信出力設定	1mW / 20mW	20mW
送信周期(SW-4220-1000 のみ)	1分 / 5分 / 10分	1分

## 5.5 人体検出機能

本製品は赤外線の変化を検出する焦電型赤外線センサを利用して人体を検出し、ある期間の検出回数(センサ出力パルス数)を送信します。

図 10 に人が通過した場合の、センサ出力波形のイメージを示します。



(注)このタイミングチャートはイメージ図なので、実際の波形とは異なります。

図 10 タイミングチャート

## 5.6 検出回数と送信タイミング(活動量測定仕様; SW-4220-1000 の場合)

プロパティで設定された周期(1分、5分、10分)ごとに検出回数を送信します。  
 プロパティ設定された定期送信を含め、表9の周期で送信が行われます。

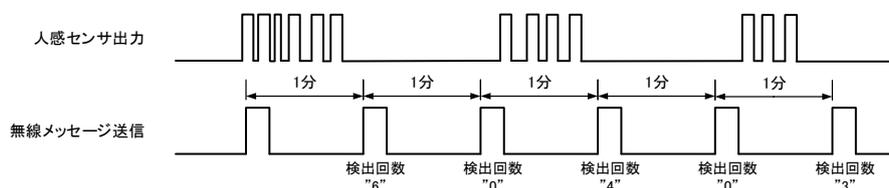


図 11 検出回数と送信タイミング例(SW-4220-1000)

表 9 定期送信(SW-4220-1000)

周期	期間	送信内容	備考
10 秒	電源投入後 10 分間	検出回数、 検出幅	設置確認用
プロパティ設定周期 (1分、5分、10分)	常時		

## 5.7 検出回数と送信タイミング(イベントドリブン;SW-4220-1010 の場合)

### ■検出時送信

- ① イベント待機モードで人を検知した場合は即座に検出回数”1”というメッセージを送信し、イベント処理モードへ移行します。
- ② イベント処理モードでは、1分間隔で1分間の検出回数”N”を送信します。1分間検出が無かった場合は、検出回数”0”というメッセージを送信し、イベント待機モードに入ります。
- ③ イベント待機モード移行後も1分間隔で検出回数”0”を送信します。
- ④ 最後に人を検知してから5分間人を検知しない場合は、それ以降の送信をやめます。

(例1) 検出回数”0”送信後、人を検出しなかった場合

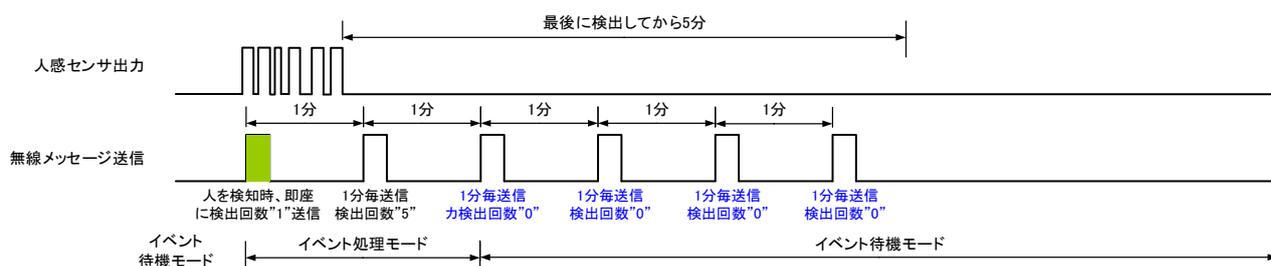


図 12 検出回数と送信タイミング例 1(SW-4220-1010)

(例2) 検出回数”0”送信後に、再度人を検出した場合

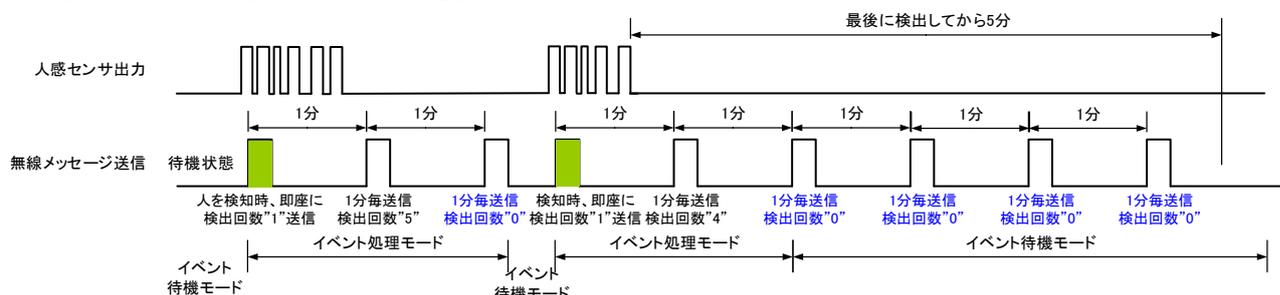


図 13 検出回数と送信タイミング例 2(SW-4220-1010)

### ■定期送信

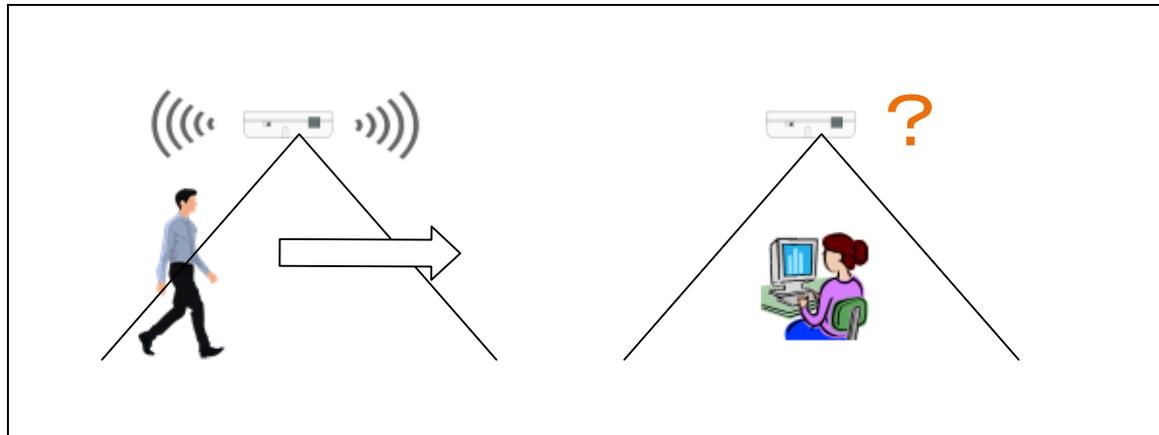
検出時送信も含めて、表 9 の周期で定期送信が行われます。

表 10 定期送信(SW-4220-1010)

周期	期間	送信内容	備考
10 秒	電源投入後 10 分間	検出回数	設置確認用
1 分	人体検出時	検出回数	検出時送信を参照
1 時間	常時	1 時間ごとの定期送信メッセージ	イベント待機中は自発的にメッセージを送信しないため、状況確認用

## 5.8 センサ特性上の注意点

センサは「人の通行」や「人の訪問」などのように、人の大きな動きを検出するのに適しています。逆に、検出したい人が着席中等でほとんど動かない場合や、動きが非常に小さい場合には、検出できない場合があります。



その他、センサの特性上、以下のような場合には人体以外の熱源を検出する場合や、逆に検出しにくい場合がありますので、十分評価を行った上で設置をお願いします。

### <検出距離>

- ・検出距離(5m)より遠い場所でも検出する場合があります。

### <検出範囲>

- ・周囲環境温度と人体との温度差が大きい場合、検出範囲外でも検出する場合があります。
- ・センサの表面に汚れや異物が付着すると検出範囲が狭くなったり、検出できなくなる場合があります。

### <人体以外を検出する場合>

- ・動物
- ・太陽光、自動車のヘッドライト、照明などの遠赤外線がセンサに直射したとき。
- ・冷暖房機の温風・冷風、加湿器の水蒸気などにより検出範囲内の温度が変化したとき。
- ・センサの取付け場所が動いたとき

### <検出しにくい場合>

- ・遠赤外線を透過しにくい物体(ガラス・アクリル板など)がセンサと人との間にあるとき。
- ・人がほとんど動かない、もしくは高速で移動したとき。

## 5.9 メッセージ・フォーマット(ベースからホストへ)

本製品から送信された無線メッセージはベースで受信され、ベースからホストへの通信は下記フォーマットでメッセージの送信を行います。メッセージの書式は ASCII フォーマットを使用し、カンマ区切りテキストとして送信されます。

GID:0xXX,RID:0xXX,CH:0xXX,MSG:0XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX,IDX:0xXX,SID:0xXX,RT:0XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX(CRLF)

表 11 センサネットプロトコル(SNP)内メッセージ内訳

コード	項目	バイト数	範囲	説明
GID:	グループ ID	1	0x65~ 0xFE	GID はセンサネットワークグループのグループ ID を示す。各ユニットは同じグループ ID を持つユニットとのみ通信を行う。
RID:	宛先 ID	1	0x00~ 0xFF	RID は送信メッセージの宛先 ID を示す。ベースがホストへ出力する宛先 ID は常に 0x00(ベース)となる。 0x00: ベース 0x01~0xFE: ルータ/ノード 0xFF: 全ユニット向け一斉送信(テスト時のみ使用)
CH:	通信チャンネル	1	0x19~ 0x4B	通信チャンネルを示す。無線仕様の項を参照。
MSG:	ユニット個別メッセージ	12	-	データ送信元からの無線メッセージを示す。下記メッセージの説明を参照。
IDX:	インデックス	1	0x00~ 0xFF	メッセージ識別用番号を示す。異なるコマンドを送信するごとにインクリメントして出力する。
SID:	送信元 ID	1	0x00~ 0xFE	SID はデータ送信元の ID を示す。
RT:	ルート情報	10	-	メッセージが送信元から宛先まで届く間の、ルート情報・RSSI 情報を示す。

※詳細についてはメッセージ仕様書を参照のこと。

■活動量測定仕様 (SW-4220-1000)

Byte11	Byte10	Byte9	Byte8-7	Byte6-0
0x09 ユニットタイプ	制御 コード	電池 電圧	0x0000 固定値	データ

■制御コード

B10	Data
0x00	検出回数&検出幅
0xFE	ソフトウェアバージョン

■電池電圧

B9	Data
0x00	2.8V 以上
0x01	BLD1 (2.5~2.8V)
0x02	BLD2 (2.5V 未満)

■データ: 人感検出回数・検出幅 MAX・検出幅 MIN

B6H	B6L-5H	B5L-4	B3	B2	B1	B0
0x0 固定値	0xAA 固定値	0x000-FFF 検出回数 0~4095	0xAA 固定値	0x00-FF 検出幅 MAX 0~255(×10)ms	0xAA 固定値	0x00-FF 検出幅 MIN 0~255(×10)ms

※バイナリー形式で出力されます。

■データ: ソフトウェアバージョンの場合(電源投入直後)

B6	B5-0
0x00 固定値	0x0XXX0XXX0XXX ソフトウェアバージョン

例)ソフトウェアバージョン 1.123456:0x09FE0000000000101230456

■ イベントドリブン仕様 (SW-4220-1010)

Byte11	Byte10	Byte9	Byte8-6	Byte5-0
0x0B ユニットタイプ	制御 コード	電池 電圧	0x000000 固定値	データ

■ 制御コード

B10	内容
0x00	検出時送信、検出カウント数
0x01	1 時間ごとの定期送信
0xFE	ソフトウェアバージョン

■ 電池電圧

B9	内容
0x00	2.8V 以上
0x01	BLD1 (2.5~2.8V)
0x02	BLD2 (2.5V 未満)

■ データ(1): 検出時送信

B5-0
0x000000000001 固定値

■ データ(2): カウント数

・検出後の 1 分ごと送信、および電源投入後の 10 秒ごと送信

B5-0
0x000000000000~0x000099999999 (BCD フォーマット) 0~99,999,999 回

■ データ(3): 1 時間ごとの定期送信

B5-0
0x000000000000 固定値

■ データ(4): ソフトウェアバージョンの場合 (電源投入直後)

B5-0
0x0XXX0XXX0XXX ソフトウェアバージョン

例) ソフトウェアバージョン 1.123456: 0x0BFE00000000000101230456

## 6 無線仕様

本製品の無線仕様、および通信チャンネルの周波数と送信出力を以下の表に示す。

表 12 無線仕様

項目	仕様	備考
無線部方式	特定小電力無線	ARIB STD-T108 準拠
キャリア周波数	920.5-929.70MHz	
変調方式	FSK	
伝送速度	100kbps	
設定可能チャンネル	25-31,34-60,64-75(1mW) 25-31,34-60(20mW)	25~60CH:3 チャンネル同時使用 64~75CH:5 チャンネル同時使用
選択可能チャンネル数	46(1mW) 34(20mW)	
エンコード	DC スクランブル	
送信出力	1mW / 20mW	
通信距離	100m 以上	屋外見通し (使用環境により異なります。)

※特記なき場合の試験条件: V<sub>cc</sub>=3.0V、T=25°C

表 13 無線チャンネルの周波数と送信出力(1mW)

CH	Freq. (MHz)	CH	Freq. (MHz)	CH	Freq. (MHz)	CH	Freq. (MHz)
25	920.8	34	922.6	48	925.4	64	928.35
26	921.0	35	922.8	49	925.6	65	928.45
27	921.2	36	923.0	50	925.8	66	928.55
28	921.4	37	923.2	51	926.0	67	928.65
29	921.6	38	923.4	52	926.2	68	928.75
30	921.8	39	923.6	53	926.4	69	928.85
31	922.0	40	923.8	54	926.6	70	928.95
		41	924.0	55	926.8	71	929.05
		42	924.2	56	927.0	72	929.15
		43	924.4	57	927.2	73	929.25
		44	924.6	58	927.4	74	929.35
		45	924.8	59	927.6	75	929.45
		46	925.0	60	927.8		
		47	925.2				

表 14 無線チャンネルの周波数と送信出力(20mW)

CH	Freq. (MHz)	CH	Freq. (MHz)	CH	Freq. (MHz)	CH	Freq. (MHz)
25	920.8	34	922.6	43	924.4	52	926.2
26	921.0	35	922.8	44	924.6	53	926.4
27	921.2	36	923.0	45	924.8	54	926.6
28	921.4	37	923.2	46	925.0	55	926.8
29	921.6	38	923.4	47	925.2	56	927.0
30	921.8	39	923.6	48	925.4	57	927.2
31	922.0	40	923.8	49	925.6	58	927.4
		41	924.0	50	925.8	59	927.6
		42	924.2	51	926.0	60	927.8

## 7 環境条件

### 7.1 設置環境

金属などの電波障害物を避け、周囲 1m のスペースを確保してください。設置空間を図 13 に示します。

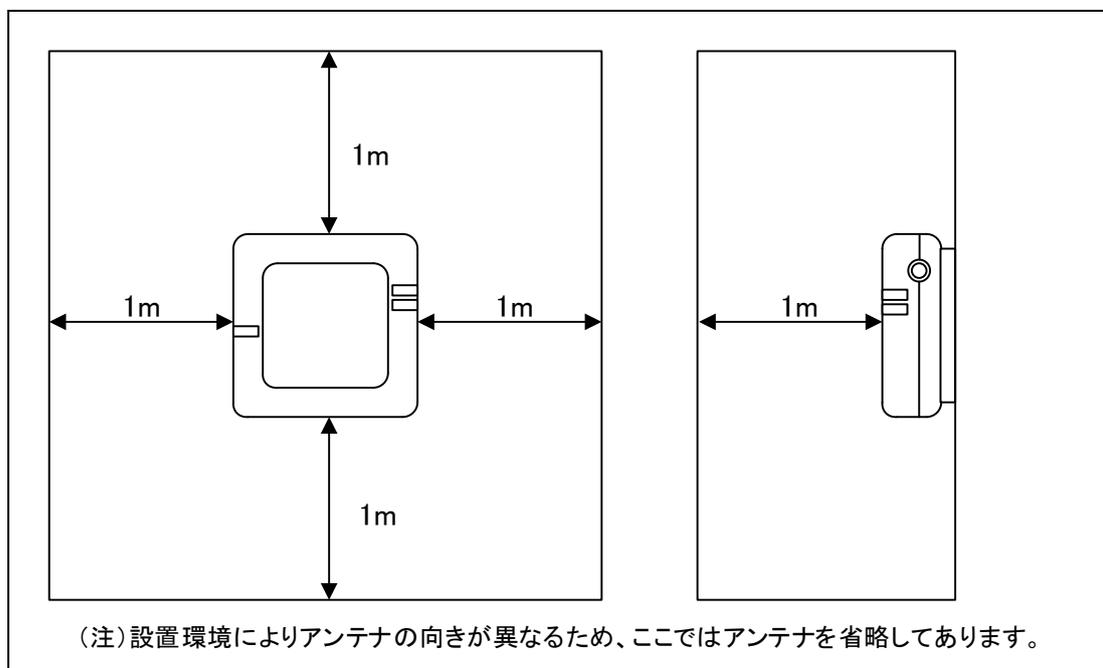


図 14 設置環境

以下のような場所への設置は避けてください。

- 温度、湿度の変化が激しい場所
- 水滴がかかる可能性のある場所
- 塵やほこりの多い場所
- 振動のある場所
- 腐食性のガスや塩分の発生する場所
- レンジ、電熱器などの高温になる機器の近傍
- 大型冷蔵庫、製氷器、モータを内蔵する機器の近傍など電磁界の発生する場所
- 周囲が金属等の導電体で囲まれている場所
- 本製品とルータあるいはベースとの間に、金属扉や壁等がある場所

## 7.2 動作環境

表 15 動作環境

項目	仕様	備考
周囲温度	-10~60°C	
周囲湿度	20~85%	結露無きこと

## 7.3 保管環境

表 16 保管環境

項目	仕様	備考
周囲温度	-20°C~70°C	

## 8 保証規定、免責事項

### 8.1 保証規定

#### 〔無償保証期間〕

本製品の無償保証期間は製品納入日より1ヶ年とします。

#### 〔無償修理〕

無償保証期間中に本書の「注意事項」を遵守した正常な使用状態で故障した場合は、無償修理いたします。

#### 〔有償修理〕

無償保証期間内であっても、次の場合は有償修理となりますのでご注意ください。

- 本書の「注意事項」を逸脱した行為による故障、損傷
- 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変による故障、損傷
- 弊社以外での修理、調整、部品交換などによる故障、損傷
- 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。

#### 〔保証対象〕

保証対象となるのは、製品本体(ソフトウェアを含む)のみとなります。

#### 〔お問合せ窓口〕

本製品に関するお問合せは、以下までお願いいたします。

お取扱の代理店または、下記お問い合わせメールへ

Eメールアドレス …… wsn\_info@sii.co.jp

#### 〔修理・解析依頼〕

本製品をダンボール箱等で梱包して、次のあて先までご発送戴けますようお願いいたします。なお、発送にかかる費用はお客様のご負担とさせていただきます。

〒261-8507 千葉県千葉市中瀬 1-8 セイコーインスツル株式会社  
ムーブメント事業部 PI 部

### 8.2 免責事項

- 弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、本製品を使用したことによる損害賠償および、第三者からの請求等について、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、現地での製品の修理、交換、選別などは、対応いたしかねます。
- 納期遅延や不良などへの対応は全力を持って対応させていただきますが、検収後の LOT 保証、生産ラインの保証、損害賠償などはいたしかねます。
- 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、または異常電圧、静電気、お客様の故意または過失、その他想定外の条件下での使用により生じた損害に関して、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- 弊社が関与しない機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などにより生じた損害に関しては、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- 本製品は、一般用途向けに設計されており、一般機器より高い信頼性が要求される用途や、医療機器、防災・セキュリティ関連機器、ガス・危険物等の安全装置、航空機用の機器及びその重要部品のような極めて高い安全性が要求される用途での使用は、意図されておりません。これらの用途での使用により、人身事故、火災事故、損害等が生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。
- 本書の「注意事項」の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- 本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線モジュールを内蔵しています。この製品は日本国外での電波法には適合していませんので、日本国内で使用してください。日本国外で使用した場合、当社は一切責任を負いません。

## 改訂履歴

Rev.	改訂年月日	改訂内容
1.0	2015/1/22	初版
1.1	2015/2/23	・イベントドリブン仕様のイベント発生可能時期を変更：従来は 5 分間人体未検出後にイベント可能になっていたが、1 回でも検出回数”0”を送信した以降はイベント発生可能になるよう変更した。(ソフトバージョン 2000XXX0XXX)以降に対応。 ・その他：全体的に見直し修正。
1.2	2015/11/1	P2-3: 注意事項更新。 P28: 保証規定更新。
1.3	2017/2/27	表紙、P28: 社名変更。連絡先変更。